

丸森町 住宅の再建等に関する意向調査 結果概要

1. 調査概要

(1) 目的

今後のまちづくりにあたって、被災した町民の今後の住まいに関する意向を把握し、「(仮称)丸森町復旧・復興計画」等の各種施策に反映させるため、アンケート調査を実施しました。

(2) 調査対象

プレハブ仮設住宅入居者、みなし仮設住宅入居者、在宅で避難生活を送る世帯を対象としました。

(3) 調査方法

配布・回収は郵送で実施し、調査期間は令和2年4月15日～5月1日としました。

2. 回収結果

(1) 回収状況

全体の回収率は約93%となっており、その中でもみなし仮設住宅入居者は100%、プレハブ仮設住宅入居者については、95%以上となっています。

■ 調査対象者種別ごとの回収数

種別	配布数	回答数	回収率
プレハブ	173	166	96.0%
みなし	96	96	100.0%
在宅	163	141	86.5%
その他	-	2	-
総計	432	405	93.8%

※「その他」は無記名や種別不明の回答者のため

3. 今後の住まいの予定 (全体の傾向)

- ・プレハブ仮設住宅入居者のなかで最も多いのが、「災害公営住宅・建替え後の町営住宅に入居したい」の回答で、166人中の117人(70.5%, 複数回答含む)となっています。
- ・みなし仮設住宅入居者のうち、最も多いのが「自宅の再建(修繕・建替え等)を行いたい」の回答で、96人中の42人(43.8%)となっています。
- ・在宅生活者のうち、最も多いのが「自宅の再建(修繕・建替え等)を行いたい」の回答で、140人中の55人(39.3%)となっています。

■ 回答者全体の【対象者種別】と【今後の住まいの予定】

種別/今後予定	1.公営住宅	2.自宅再建	3.新たに自宅	4.賃貸戸建	5.賃貸アパ	6.再建済	7.その他	不明、無回答
1.プレハブ仮設	115	28	5	1	1	2	9	2
2.みなし仮設	19	42	6	6	7		12	1
3.在宅	8	55	5	6	2	46	15	3
4.その他						1		1
計	142	125	16	13	10	49	36	7

	1.2.に回答	1.3.に回答	1.5.に回答	1.7.に回答	2.7.に回答	3.7.に回答	4.5.に回答	計
1.プレハブ仮設	1			1	1			166
2.みなし仮設		1	1				1	96
3.在宅								140
4.その他						1		3
計	1	1	1	1	1	1	1	405

4. 災害公営住宅・建替え後の町営住宅希望者の意向

(1) 被災時の住まいの形態と被災判定結果について

- ・町営住宅に住んでいた 99 人の被害状況は、半壊 63 人、大規模半壊 30 人でほとんどを占めています。
- ・被災前に持ち家に住んでいた人の中では大規模半壊が最も多く、36 人中 17 人 (47.2%) となっています。

■【被災時の住まい形態】×【被災判定】

被災住まい/被災	1.全壊	2.大規模半壊	3.半壊	4.一部損壊	不明、無回答	計
1.持ち家	9	17	7	1	2	36
2.賃貸住宅	2	2	3			7
3.町営住宅	4	30	63	1	1	99
4.社宅						0
5.その他		2				2
2,3に回答	1					1
不明、無回答		1				1
計	16	52	73	2	3	146

(2) 被災時の住まいの形態と希望する場所及び間取りについて

- ・希望者全体のうち、神明地区希望が最も多く 89 人 (61.0%)、竹谷地区の希望が 38 人 (26.0%) となっています。
- ・被災前に町営住宅に居住していた人 99 人のうち、神明地区が 68 人 (68.7%) とほぼ 3 分の 2 となっています。被災時に持ち家だった人では、36 人中 19 人 (52.8%) が神明地区を希望しています。

■【被災時の住まい形態】×【希望場所】

被災時住/希望場所	1.神明地区	2.竹谷地区	1,2.に回答	不明、無回答	計
1.持ち家	19	14		3	36
2.民間賃貸	2	2		3	7
3.町営住宅	68	21	1	9	99
4.社宅					0
5.その他				2	2
2,3.に回答		1			1
不明、無回答				1	1
計	89	38	1	18	146

- ・希望者全体の中で、半壊の被害を受けた人 73 人のうち、45 人 (61.6%) が神明地区を希望しており最も多くなっています。次いで被害状況の多い、大規模半壊の被害を受けた人 52 人のうち、33 人 (63.5%) が神明地区を希望しています。

■【り災判定】×【希望場所】

り災判定/再建場所	1.神明地区	2.竹谷地区	1.2に回答	不明、無回答	計
1.全壊	7	7		2	16
2.大規模半壊	33	12		7	52
3.半壊	45	19	1	8	73
4.一部損壊	2				2
不明、無回答	2			1	3
計	89	38	1	18	146

- ・神明地区希望者では、1LDK が 36 人、2LDK が 36 人と同数となっています。竹谷地区希望者では、1LDK が 18 人、2LDK が 14 人とやや 1LDK が多くなっています。

■【希望場所】×【間取り】

希望場所/間取	1LDK	2LDK	3LDK	4LDK	不明、無回答	計
1.神明地区	36	36	2	5	10	89
2.竹谷地区	18	14		4	2	38
1.2.に回答			1			1
不明、無回答	6	2	2	1	7	18
計	60	52	5	10	19	146

5. 自宅の再建を行いたい方、自宅を新たに持ちたい（新築したい）方の意向

- ・自宅の再建・新築希望者の中で「被災した自宅を修繕、改築したい」が 74 人（51.0%）と最も多く、「現地建替えしたい」が（20 人）「移転建替えしたい」（17 人）となっています。
- ・り災判定で最も多かった大規模半壊が 68 人（46.9%）となっており、その中で、「被災した自宅を修繕、改築したい。」と希望する人が 40 人（大規模半壊の 58.8%）となっています。

■【り災判定】×【再建方法】

り災判定/再建方法	1.修繕、改築	2.現地建替	3.移転建替	4.新築、購入	5.その他	2.3に回答	不明、無回答	計
1.全壊	19	6	11	8	3	1		48
2.大規模半壊	40	8	5	7	5	3		68
3.半壊	14	6	3	2	1			26
4.一部損壊	1							1
不明、無回答							2	2
計	74	20	19	17	9	4	2	145

■【再建方法】×【再建場所】

- ・「移転して建替えまたは購入」を予定する 19 人のうち 4 人、「新たに持ちたい」と考える 17 人中 1 人が町外への移転を考えています。

再建方法/場所	1.丸森町内	2.町外	1.2.に回答	不明、無回答	計
1.修繕、改築	53			21	74
2.現地建替	17			3	20
3.移転建替	15	4			19
4.新築、購入	14	1		2	17
5.その他	9				9
2.3.に回答	1	1	2		4
不明、無回答				2	2
計	109	6	2	28	145

6. 民間の賃貸住宅希望の方の意向

- ・民間の賃貸住宅希望者の中で、「戸建てタイプの賃貸住宅への入居を希望している。」が最も多く14人(56.0%)となっています。り災判定では、大規模半壊の被害を受けた人が9人(56.3%)となっています。

■【り災判定】×【賃貸希望】

り災判定/希望形態	1.戸建て	2.アパ・マン	3.その他	不明、無回答	計
1.全壊	3	2			5
2.大規模半壊	9	4	3		16
3.半壊	2				2
4.一部損壊		1			1
不明、無回答				1	1
計	14	7	3	1	25

- ・希望の住戸タイプで、「戸建て住宅」を希望する14人のうち4人、「アパート・マンション」を希望する7人全員が町外への移転を考えています。

■【希望する住戸タイプ】×【賃貸住宅の場所】

住戸形態/場所	1.丸森町内	2.町外	不明、無回答	計
1.戸建	10	4		14
2.アパ・マン		7		7
3.その他		2	1	3
不明、無回答			1	1
計	10	13	2	25

7. 再建済みの方の意向

- ・再建済みの49人のうち、「自宅を修繕・改築」した人が44人(89.8%)、り災判定では大規模半壊の被害を受けた人が38人(92.7%)と多くなっています。

■【り災判定】×【再建方法】

り災判定/再建方法	1.修繕・改築	2.現地建替	3.移転建替	4.新築、購入	5.賃貸入居	6.その他	計
1.全壊	5			1			6
2.大規模半壊	38		1	1		1	41
3.半壊	1					1	2
4.一部半壊							0
計	44	0	1	2	0	2	49

- ・再建方法では「修繕、改築した」が最も多くなっています。「移転建替えた」「新築、購入した」も含めると、無回答を除き、すべて丸森町内で再建されています。

■【再建方法】×【再建場所】

再建方法/場所	1.丸森町内	2.町外	不明、無回答	計
1.修繕、改築	43		1	44
2.現地建替				0
3.移転建替	1			1
4.新築、購入	2			2
5.民間賃貸				0
6.その他	2			2
計	48	0	1	49